



たんぽぽだより

2024年 2月 426号

西脇市地域活動支援センター
ワークホーム たんぽぽ
〒677-0025 兵庫県西脇市大野175
TEL&FAX 0795 (22) 8149
<http://www.eonet.ne.jp/~whtanpopo/index.html>
E-mail whtanpopo@zeus.eonet.ne.jp

今年は、4年に1度の「うるう年」にあたります。暦と実際の太陽の動きの差を調整するために、2月29日が追加される特別な年です。まだまだ寒い時期ですが、季節感やこの時期ならではの楽しみをたんぽぽのみんなと一緒にしていきたいと思います。

初詣と福笑いをしました♪



1月5日の仕事始めにみんなで西林寺さんへ初詣に行きました。各々に鐘を鳴らし願い事をしてきました☆

みんなの願い事
叶うといいなあ☆



お昼から福笑いもしました。ちゃんと顔になる人や、目や鼻の位置がバラバラな人それぞれいろんな顔が出来みんなで楽しく笑いながら出来ました😊

どんな顔が完成するかな～？

2月の行事

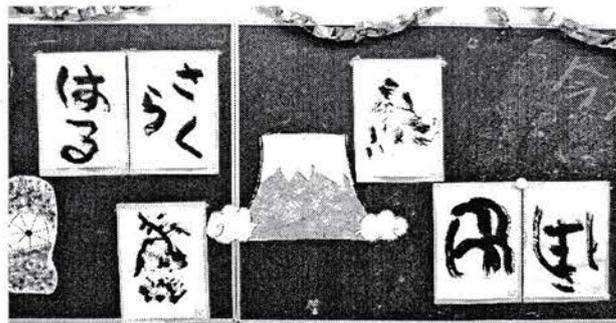
運営委員会	15日(木)
習字	26日(月)
音楽療法	5日(月)・19日(月)
気功	6日(火)
お茶	21日(水)
お誕生日会	
調理実習	16日(金)



書き初めをしました

習字の時間にお手本を見たり自由に書いたりしてみんなで書き初めをしました。

素敵な作品に仕上がりました♪



自閉スペクトラム症の特性②

会話や表情を通じたコミュニケーションは、いわばキャッチボールです。相手に何か伝えたら、それを相手かどのように受けとめたのかを感じとって、会話の内容や表情を変えます。そして相手も同じように反応を返しますが、自閉スペクトラム症の特性をもつ人は、脳の機能がアンバランスさを持って発達するために、こうしたコミュニケーションのキャッチボールが不得手で、周囲の人への安心感や愛着が早期に芽生えにくいと考えられています。

また、言葉をなかなか話さない傾向があり、欲しい物があっても「取って」とは話さず、欲しい物がある場所まで腕をつかんで連れて行く「クレーン現象」をしたりします。自分が話したいことだけを一方的に話し続けたり、言葉の響き自体が心地よく同じフレーズを何度も口にしたりすることもあります。

言葉を話さないからといって、その人に伝えたい思いがないというわけでは決してなく、伝えたいことを言葉にすることが苦手なのです。

自閉スペクトラム症の特性をもつ人の内面に気付く視点を持ち、その人の伝えたいことに思いをめぐらすことがとても大切なのだと思います。